

令和8年第2回大和村議会定例会

一般質問通告書一覧

●日時：6月18日（木）（午前2名 午後3名 開議時間 午前10:15 午後1:30）

No.	1	市田実孝議員
質問事項		要旨
1.	村民所得について	<p>1)大和村の村民所得は、他の自治体と比較し低い状況にあるが、村はどのように思われているのか見解を伺いたい。</p> <p>2)現在、村への交流関係人口の今までにない大幅な増加、人の流れを大きく変化させた政策は村内外から高い評価を受け絶賛されているが、今後、村民の所得に直接つながる政策が必要でないか。政策はどのように検討されているのか。</p> <p>3)高齢化率が進み、今後も人材不足が懸念されていく中、村の生産労働人口の約3割を占める会計年度任用職員や職員に副業を認め、生産能力を上げていく必要はないか。</p> <p>4)特産加工や企業支援一次産業支援など、村民に直接関係する産業振興課や企画観光課の予算を大幅に増やす必要はないか。</p>
2.	思勝港湾整備について	<p>1)港湾を整備拡張し、物流の流れを拡大するため、「フェリーとしま」などを寄港地として誘致運動をしていけないか。</p> <p>2)ひらとみ祭りの毎年の道路渋滞状況などから、多目的な緑地公園に整備していけないか。</p>

No.	2	勝山浩平議員
質 問 事 項		要 旨
<p>1. 中東情勢の悪化および円安長期化が本村に与える影響について</p>	<p>1) 中東情勢の悪化による原油供給不足・価格高騰、さらに円安の長期化により、燃料・物流・資材・肥料など幅広い分野で価格上昇が続いている。加えて、今後は価格高騰だけでなく、必要な物資そのものが確保できない事態も懸念される。特に、原油だけでなくナフサ（石油化学の基礎原料）の高騰・供給不安は、生活用品や農業・漁業資材など村民生活と一次産業に広く影響を及ぼす可能性がある。また、企業の価格転嫁により生活コスト全般の上昇が見込まれ、離島である本村は物流コストや燃料依存度の高さから全国以上の影響を受けやすい。さらに、燃料・資材価格の高騰やナフサ由来製品の値上がりは、医療機関・介護事業所の運営コスト増に加え、医療材料・衛生用品・消耗品などの物資不足を招く可能性があり、サービス提供体制への影響も懸念される。</p> <p>以上を踏まえ、村民生活、村内事業所、一次産業、医療・介護分野への影響をどのように把握しているのか。また、物価高騰と物資不足の両面に対し、村としてどのような対応が可能と考えているのかを伺う。</p>	
<p>2. 子ども医療費給付の年齢上限を、専門学校・短大・大学等の卒業相当年齢まで引き上げることについて</p>	<p>1) 奄美地域には専門学校が1校あるのみで、短期大学や大学は島内に存在しないため、進学を希望する若者は必ず島外で生活を始めなければならず、生活費や医療費の負担が大きい状況にある。また、医療費負担を理由に受診を控える若者もいるとされ、健康確保が課題となっている。</p> <p>本村はこれまでも子育て支援に取り組んできたが、子どもが島を離れた後も安心して学びを継続できるよう支えることは、広い意味での子育て支援であり、将来の人材育成にもつながる重要な施策である。全国では、若者の健康確保や教育支援の観点から、医療費助成を20歳・22歳まで拡充する自治体も現れている。</p> <p>以上を踏まえ、医療費給付の対象年齢を専門学校・短大・大学の卒業相当年齢まで引き上げることはできないかを伺う。</p>	

3. 危険な空き家・廃屋の撤去を推進するための行政による特定空き家等の指定を求めて

1) 危険な空き家は治安悪化や倒壊リスク、害虫・害獣の発生など住民生活に影響を及ぼし、集落の魅力ある景観を損なう要因となっている。また、危険空き家の解消は地域の安全確保だけでなく、移住定住用住宅の用地確保につながる可能性もある。

本村では人口減少を最重要施策の一つとして位置づけており、移住・定住を促進するための住宅確保を急ぎたいという強いニーズがある。しかし、空き家問題は高齢化、相続未登記、所有者不明、経済的理由による放置など、地域の努力だけでは解決が難しい構造的課題を抱えている。

法改正により、従来の「特定空き家」に加え、その前段階である「管理不全空き家」も指定が可能となり、行政が早期に関与しやすくなった。

以上を踏まえ、本村として特定空き家や管理不全空き家の指定を行う考えはないかを伺う。

No.	3	前田清和議員	
質 問 事 項			要 旨
<p>1. 本村における、今後の男女共同参画の取り組みは</p> <p>2. 住宅整備について</p>	<p>1)人口流出には、男女格差（ジェンダー）という視点から考えると、関連しているように思われる。当局のお考えは。</p> <p>2)議員のなり手不足解消に向けて、今後は議会、当局一緒になって取り組む必要がある。その上で女性が立候補出来やすい環境をつくるべきだと思うが当局のお考えは。</p> <p>1)公営住宅に居住する単身者の割合はどのような状況割合か。また、今後の推移はどのようになるのか。</p> <p>2)今後の対策の一つとして、単身者用集落長屋構想も視野に進めるべきではないか。</p>		

No.	4	重信安男議員	
質 問 事 項			要 旨
	1.	冬季や雨天時に遊べる場所の設置はできないか	<p>1) 小学校低学年以下が屋内で遊べる遊具の購入はできないか。</p> <p>2) 村体育館を利用し、冬季や雨天時及びイベントなどで、家族や観光客が遊べる施設を提供できないか。</p> <p>3) 大和浜埋立地の一部に、小学校低学年以上が遊べるジップラインの設置はできないか。</p>

No.	5	奥田浩一議員	
質 問 事 項			要 旨
1.	大和村政策住宅について		1) 現在何世帯何人が定住しているのか？ 2) 家賃補助の現状の在り方は適正なのか？ 3) 大和村及び村民にはどのような恩恵があったのか？ 4) 契約内容その他見直し、また是正すべき問題は現時点でないのか？ 5) 今後もこのような政策住宅を計画しているまたは直近で計画する予定はあるのか？ 6) 行政は今回の PPP 方式を活用した大和村政策住宅建設をどのように評価しているのか？
2.	村独自の助成金補助金また業務委託金について		1) 助成金補助金の活用を村内事業者また利用可能な個人各々への周知は明確に行われているのか？ 2) 村内において、委託管理事業者の数及び業務内容の確認また委託管理事業者に対し、委託内容に沿った業務また管理費が適正に使用されているか等の立ち入り検査的な確認及び適正な指導等が行われているのか？